

With

[ウィズ]

エポ
四国EPO
四国ESDセンター
イーエスディー

活動レポート
2023-2024

#四国 #環境 #教育 #SDGs #パートナーシップ

With 四国

2023-2024

[オンライン開催]

- 四国の森林活用ダイアログ
→4ページ
- 四国ESDバーチャル大学
→11ページ

2023年度に、**四国EPO**と**四国ESDセンター**が関わったイベント等のうち、この冊子でご紹介しているものを掲載しました(10ページの一部を除く)。詳細は各ページをご覧ください。

※①～⑳は地域ESD拠点(下記)の場所です。



登録年 | 地域ESD拠点 →13ページ

- 2017 ①新居浜市教育委員会
- 2018 ②高松ユネスコ協会
③IKEUCHI ORGANIC(株)
④(株)ハレルヤ
- 2019 ⑤(株)土佐山田ショッピングセンター
⑥室戸ジオパーク推進協議会
⑦(株)平野 平野薬局
⑧(特非)えひめグローバルネットワーク
⑨うどんまるごと循環プロジェクト
- 2020 ⑩(一社)そらの郷
⑪パンゲアフィールド
⑫(株)井上組
- 2021 ⑬(株)相愛
⑭(一社)ノヤマカンパニー
⑮善通寺こどもエコクラブ
⑯(特非)どんぐり王国
- 2022 ⑰えひめ森林公園
- 2023 ⑱(株)タイチ
⑲(公財)大阪YMCA YMCA阿南国際海洋センター
⑳新居浜市生涯学習センター
㉑豊永郷民俗資料館

四国連携環境を考える会
→7ページ

③⑦

四国ESDフォーラム2024
→12ページ

①⑳

新居浜ESDツアー →14ページ

● LS四国フォーラム →8ページ

四国EPO愛媛デスク ●⑧

⑰

地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
中間共有会
(特定非営利活動法人 由良野の森)
→3ページ

● ローカルSDGs四国表彰
審査委員特別賞
一般社団法人
KUMAYAMA STORIES
→6ページ

四国ESDバーチャル大学

⑭⑯ ● →11ページ



⑱

NTTコミュニケーションズ株式会社四国支社
※愛媛県鬼北町プラットフォーム事業
→10ページ



広葉樹すきま事業として
フレンド茶を開発。

● 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
高知県大月町 →3ページ

- 四国ESDバーチャル大学 →11ページ
- かがわ国際フェスタ2023 →14ページ
- 香川型教育メソッド研究会 →14ページ
- 西日本放送ラジオ(RNC)出演 →14ページ
- 対策いろいろ 防災ESD →5ページ
- ローカルSDGs四国表彰式 →6ページ
- 『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会 →7ページ
- 令和5年度気候変動講演会 →9ページ
- 第9回かがわ環境活動団体交流会 →9ページ
- ゼロカーボンシティ展/環境活動展 →9ページ
- ②⑨ ● 四国EPO・四国ESDセンター



? | 四国EPO

「しこくえぽ」と読みます。EPOは「Environmental Partnership Office (環境パートナーシップオフィス)」の略称です。

「環境省地方環境パートナーシップオフィス」は、環境教育等促進法によって、現在、全国8か所に設置されています。四国EPOは2007年1月にスタートしました。

環境に関するいろいろな課題を解決するためには、地域でのパートナーシップが重要です。環境省はそのパートナーシップの構築を進めてきました。四国EPOは、地域のNPO/NGO・企業・行政・市民等が主体的に関わるため、情報の発信や環境教育のサポート、また環境についての相談やコーディネートなどを行っています。

? | 四国ESDセンター

正式名称は「四国地方ESD活動支援センター」で、環境省と文部科学省によって設置されています。

ESD(イーエスディー)は、「Education for Sustainable Development」の頭文字。「持続可能な開発のための教育」と訳されます。EPOと同じく全国8か所にあり、四国は全国に先駆け、2017年7月1日にスタートしました。

四国ESDセンターでは、四国4県で行われるESD活動を支援したり、人材育成、情報収集・共有、学びあいの場づくり、ネットワークの構築などを行っています。同時に、全国や世界とのつながりを活かして、持続可能な社会を目指します。

地域循環共生圏

ローカルSDGsとも呼ばれる。



日本が目指す、持続可能な社会の姿。

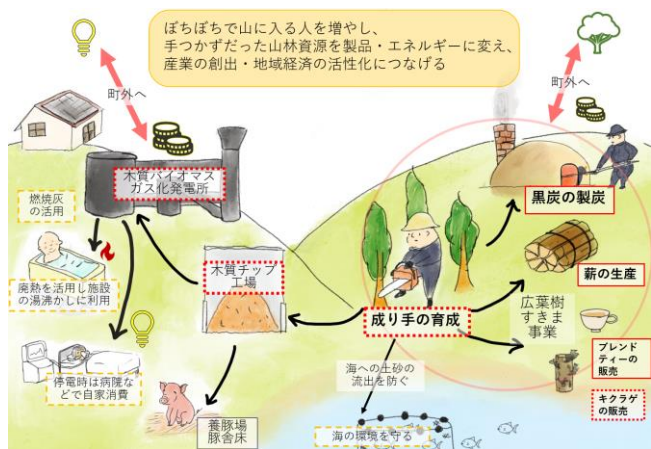
地域の資源を活用して環境・経済・社会を良くしていくと、地域は自立できます。その地域同士がお互いの個性を生かして支え合い、ネットワークをつくります。森・里・川・海のつながりをもたらしてくれる豊かな自然資源を持続可能な形で活かし、自然環境を維持・回復していくことが前提です。四国EPOは、地域循環共生圏をつくる活動を支援しています。

■ 地域プラットフォームの環境整備支援

次の世代のために。故郷のために。 楽しみながら、地域を良くしていく。

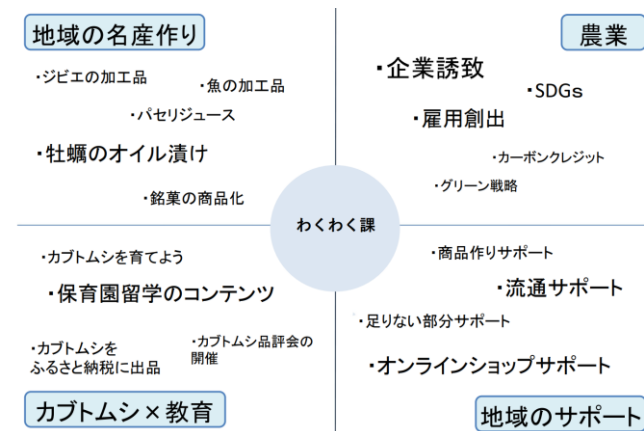
子どもたちやその先の世代が、より良きふるさとで暮らし続ける。そんな未来を思い浮かべて、わくわくしながら考え、からだを動かす。環境省の「地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」が全国で着々と進んでいます。四国では、2つの環境整備団体が活動中。四国EPOが支援しています。

NPO法人大月地域資源活用協議会 (高知県大月町) [環境整備事業2年目]



『複数のぼちぼち山業(※)で豊かな生活スタイル』をテーマに、四国の西南端、高知県大月町で活動中。山での取組を活性化することにより、柏島など観光スポットとして有名な海の世界も守ることができます。2年間の活動で事業化につながる成果が出てきましたが、今後は山に入ってくれる人を増やしていくことも課題に。大月町での暮らしや、山の仕事の現状について情報発信していきます。 ※山業(さんぎょう) = 樹を伐るだけでなく、山を活用するすべての事業。

一般社団法人全国わくわく課協会 (香川県東かがわ市) [環境整備事業1年目]



香川県の東端、東かがわ市で、幅広い分野の事業のタネを集めています。2023年8月にはカブトムシを使ったイベントを成功させ、地域の方々との交流が深まりました。今後の教育の取組にもつながりそうです。現在は主に循環型農業の実現に向けて注力しているところで、地元企業や団体、農家さんなどと一緒に活動を進めています。また、幅広い人脈を活かして、地域の名産づくり、それらの流通、さらには観光施策や雇用などで人口減の課題への取組にも関わっています。



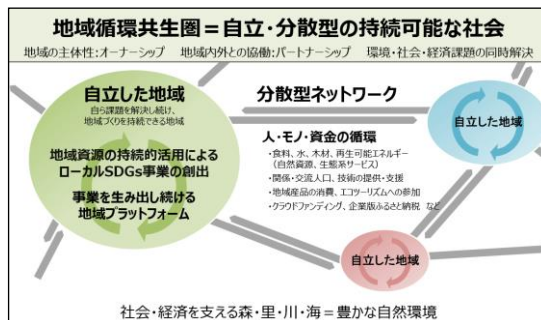
2023年10月、「中間共有会」を開催。

両団体の活動について情報交換、意見交換を行う「中間共有会」を、NPO法人由良野の森(愛媛県久万高原町)に会場をお借りして開催しました。関係者が一堂に集うことによって、オンラインや文書では伝えきれない思いや情報を共有することができました。また、由良野の森から「多様な関係者との協働による森林再生」と題した報告をいただき、環境省担当者からプラットフォーム展開への助言を受けるなど、大きなヒントを得ました。

地域循環共生圏

高校の教科書に掲載された。

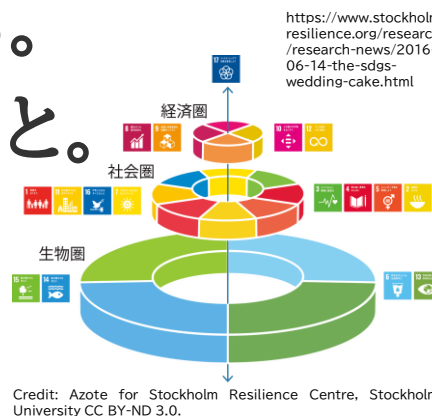
環境省ホームページ「地域循環共生圏」より。
<http://chiikijunkan.env.go.jp/>



■ 自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進

森里川海の恵みをこれからも。 私たちが、ずっと続けていくこと。

地域循環共生圏づくりの大前提となっているのが、森・里・川・海のつながりがもたらしてくれる豊かな自然資源。それらを持続可能な形で活かし、維持・回復していくために、まずは知る、そして動く。四国EPOが関わった2つのイベントを紹介します。



2024.1.31開催 / のいちふれいあいセンター(高知県香南市) + オンライン

物部川流域生態系保全から考える 持続可能な地域づくりへのアプローチ ～新たな仕組み「自然共生サイト」をどう活かす?～

自然共生サイト登録のメリットやその後の活用についての質疑応答も進みました。



日本では、2030年ミッションとして生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現を掲げ、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30目標)を位置付けています。その取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する仕組みを令和5年度から導入し、登録を推進中です。

このイベントでは、物部川流域における多様な主体の関わりによる生態系保全の在り方について報告をいただくとともに、地域において「自然共生サイト」をどう活用できるかを考えました。自然共生サイトの申請者や登録・審査に関わる方々を交えて意見交換を行い、同サイトへの登録が地域のポテンシャルや魅力を再確認する機会となり、地域の生態系保全のツールとして活用できるのではないかという考え方が共有されました。

主催: 四国EPO 後援: 物部川21世紀の森と水の会 高知県 香南市

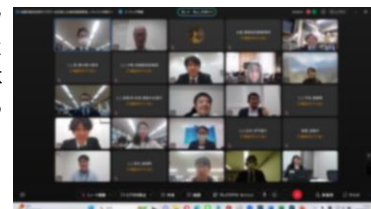
2024.2.13開催 / オンライン

四国の森林活用ダイアログ ～自治体による森林経営管理、J-クレジットの発行～

4つの講演の後、それぞれのブレイクアウトセッションに分かれ、登壇者と意見交換を行いました。セッションは2回設け、時間の許す限り興味のあるテーマについて話し合いました。

四国の全面積のおよそ7割を占める森林。森林経営管理法の施行により自治体が管理すべき森林が増加しているなか、来年度からは森林環境税の徴収が開始されます。また、東京証券取引所にカーボン・クレジット市場が開設されるなど、脱炭素社会に向けた動きが加速しています。果たして森林は大きな資産となり得るのか? 高齢化が進む中、適切な森林管理を継続していく方法とは? …森林活用に興味関心のある自治体・金融機関等と、関係する行政機関及び課題解決のソリューションを持つ企業から50名以上がオンラインで集い、現状や課題、最新情報を出し合っ、これからの森林活用に向け、みんなで考えました。

共催: ローカルSDGs四国 四国森林管理局 四国経済産業局 四国財務局 協力: 金融庁環境省連携チーム



待っててもダメだから、

ローカルSDGs四国が主催・共催したイベントを2つ紹介。

ローカルSDGs四国(LS四国)は、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と四国EPOが事務局を担う四国のプラットフォームです。→8ページ
エッセ

四国に、SDGsを実践する場を創る。 集い、話し合い、行動につなげる。

2023.9.8開催 / 香川大学 林町キャンパス(香川県高松市)

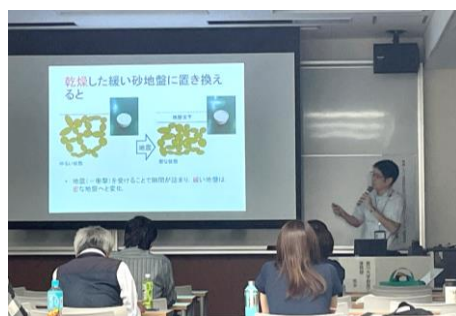
対策いろいろ 防災ESD

「南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム」分科会連携

荒木准教授(香川大学創造工学部)が、液状化の原理と対策について基調講演を行ったあと、南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアムが取組を発表し、地震被害、液状化被害、今後の対策等について紹介しました。参加者からは、大変参考になったとの声多数。その後、西日本豪雨災害で被災したミカン農家の方の動画上映や、四国

災害ボランティアネットワーク、LS四国分科会のブース展示での情報提供も行い、イベント名のとおり、いろいろな対策を知ってもらう機会となりました。

北海道胆振東部地震での被害の様子。(写真提供:南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム)



荒木准教授による基調講演。テーマは「知っているようで知らない液状化現象の原理と対策」。



各ブースでは、参加者のみなさんが出展者の話をじっくり聞くことができました。

主催: LS四国

共催: 香川大学 南海トラフ香川液状化対策コンソーシアム

2023.11.16開催 / 川之江ふれあい交流センター(愛媛県四国中央市)

四国地方における地域脱炭素創生ネットワークング会

脱炭素に取り組みたい地方公共団体と、脱炭素に関する豊富な技術やノウハウを提供したい民間事業者。そのマッチングの場として、ネットワークング会を開催しました。講師からの基調講演と情報提供、各自治体からの現状やニーズの発表の後、自治体ごとにセッティングしたブースで事業者との情報交換が次々に行われました。

地域で脱炭素の動きが進めば、環境課題と地域課題の同時解決につなげることができます。脱炭素を柱として、人、企業や団体、そして自治体がどんどんネットワークを広げるきっかけをつくることができました。



屋外ではEV車と給電設備の展示も行われました。

共催: 環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 LS四国 四国経済連合会
後援: 四国経済産業局 徳島県 香川県 愛媛県 高知県



まずはステージで基調講演と情報提供。そして自治体からの発表。



各自治体ブースで事業者との情報交換。ネットワークが広がっていきます。

ローカルで動いている。



今年も魅力ある取組が集まった、ローカルSDGs四国表彰。

ローカルSDGs四国(LS四国)は、地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業の中で誕生しました。→8ページ
エリス

熱い思いで実践中のアクティビティを、 たくさんの人に知ってほしい。

2024年度も開催！
ぜひ応募ください。

第3回を迎えた「ローカルSDGs四国表彰」。2023年11月14日～2024年1月5日に募集し、思いと志を持って四国で活動している企業やNPO、学校などから12件の応募がありました。各賞に輝いたのは、下記の5団体。取組を広く知ってもらうことで、つながりや活動が広がることを期待しています。



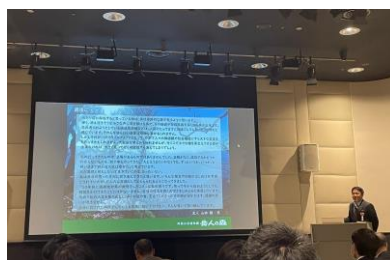
受賞団体と審査委員の方々。

ローカルSDGs四国大賞

地域課題解決部門賞

四国山岳植物園 岳人の森

「消えゆくものを残し、
ふるさとを守り育てる
花の里地域活動」
(徳島県)



山間地域での長期間に渡る自然保護活動と、活動を続ける強い思いが多くの方を呼び、地域資源を観光の資源として活用できるまでになったことが、地域の課題解決に結びついていると高く評価されました。ローカルSDGsの根本である地域資源を持続可能な形で最大限活用するとともに、それぞれの地域と資源を補完し合いながら、環境・経済・社会の統合的向上を目指す地域づくりを希少生物保全を通して実施しており、他の地域にも大きなインパクトを与える活動です。

チャレンジ部門賞

株式会社フクシン

「たくさん笑顔をつなぐ」(香川県)



片足ソックスという斬新なアイデア、環境負荷を減らした100%再生可能エネルギー利用による工場稼働、廃棄量を減らす取組など持続的な経営を行い、事業者の模範となり地域産業を牽引しようとする姿勢が評価されました。



ユース部門賞

香川県立三本松高等学校

「三高みんなの食堂プロジェクト」(香川県)



次世代を担う高校生が主体となった、地域を巻き込んだ地産地消プロジェクトであること、多様な課題解決への貢献が期待できることが評価されました。



審査委員特別賞

一般社団法人KUMAYAMA STORIES

「暮らしの中で地域コミュニティをケアする
コミュニティナース」(愛媛県)



中山間地域を多く抱える四国において、地域医療や福祉の維持の観点から、今後の社会が抱える課題を見据えた重要な取組であると評価されました。



審査委員特別賞

有限会社ハイプラ

「ペットボトルキャップからつくる持続可能な未来
～新たな製品と子どもたちを救うワクチンへ～」(徳島県)



現代社会の大きな課題であるプラスチックについて、自社技術で回収から再利用まで行っていること、また、自社製品・技術を活かしたワークショップや出前授業など、環境教育活動まで展開されていることが評価されました。



※写真はすべてLS四国表彰式(2024年2月22日)の様子です。

先へと続くストーリーを

ローカルSDGs四国の原動力、分科会とは？

ローカルSDGs四国(LS四国)に入会し、分科会を立ち上げて活動したい方は、事務局までご連絡ください。→裏表紙
EPLS

自立した7つのチームが、 それぞれのテーマでプロジェクトを推進。

ローカルSDGs四国に参加するだけでなく、同じゴールを目指す者同士がチームを結成。

チームが掲げるテーマに沿ってプロジェクトを立ち上げています。

現在、7つの分科会がアクティブに活動中。それぞれの専門知識や経験を活かし、

その相乗効果で、四国の地域課題を解決に導きます。



環境省の提唱する『つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト』に賛同し、地域循環共生圏づくりに向けて『一人一人、一社一社が取り組むSDGs』を掲げ取り組んでいます。四国における地域循環共生圏の普及啓発活動を進め、志を共にするメンバーの拡大と交流の場づくりを進めていきます。

『森里川海プロジェクト・LS四国』 企業交流会分科会 2023年8月17日 分科会登録

2024年2月2日『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会を高松で開催！
四国内の企業を中心に多くの方にご参加いただき、森里川海からSDGsまで、情報共有と交流を通じた連帯を深めました。次回は11月に倉敷で開催を予定しています。

四国の森 自然再生ネットワーク 2023年2月16日 分科会登録

四国では森林の占める割合は7割を超えます。そのうち人工林率は61%と言われ、放置林や皆伐地が年々増えています。四国の自然環境を議論する上で森林の問題は最重要課題と考えられます。海や川と違い山林(木々も含め不動産)は民有財産のため、所有者の決定がなければ状態を変えることができません。わずかに残された自然公園の原生林も、シカの食害によって消えていこうとしています。

私たちは、川や海の命の源である水源の森を再生したいと思っています。残すに値する再生した自然植生を、50年100年先の世代に贈与するため、里山から奥山まで、多くの分野の方と知恵と志を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

地域エネルギー 2021年2月17日 分科会登録

四国内の中小企業家同友会・環境経営委員会メンバーを中心に運営しています。毎年、四国4県の持ち回りで開催している「四国連携環境を考える会」を今年度は、地域エネルギー分科会活動として位置づけ、2024年3月19日に「地球沸騰化、社会変革の今をどう乗りこえるか～環境経営のキホンから考える～」をテーマに愛媛県今治市で開催。四国内での再生可能エネルギーの拡大と、地域内の経済循環を生み出すために、関係者とのネットワークづくりを進めます。

四国のESD拠点とともにローカルSDGs達成に貢献していきたい、という思いで活動中。拠点を増やし、つなげることで、ESDの認知度を高め、地域のESD人材をどんどん増やしています。またイベントにも積極的に関わっています。

四国ESDチーム 2021年2月17日 分科会登録

多文化共生型の 減災社会づくり 2021年2月17日 分科会登録

地域の在住外国人の状況に合わせた「防災・減災セミナー」を実施しています。事業最終年となる2023年度は、香川県小豆島と愛媛県西条市でワークショップを開催しました。

この取組は、地域のみなさんとの研修や現地視察で得た知見を、高校生と一緒に、在住外国人向けワークショップへ反映し、実施を通じて、多文化共生型の防災・減災について学ぶものです。2024年2月には四国4県の関係者との意見交換を経て、今後も地域での開催を支援していくこととなりました。

SDGs事業促進 検討分科会 2022年4月7日 分科会登録

愛媛銀行、伊予銀行、三井住友信託銀行松山支店が協働して、地域事業者のSDGs取組を、同一の目線で定量評価できるスキームの実現を目指して活動しています。

2022年度は、環境省の補助金事業を活用し、地域特性を踏まえたSDGs登録/認証制度の在り方の検討を1年かけて行い、定量診断基準となる「共通のものさし」のプロトタイプを作成しました。2023年度の活動としては、①自治体のSDGs認証制度構築に向けた定例会議(7月～)、②DBJ×リコー主催の「脱炭素経営セミナー」への登壇(6月)、を実施しております。

南海トラフ地震 香川液状化対策コンソーシアム 2022年6月16日 分科会登録

液状化メカニズムを学び、関連最新技術及びサービスを紹介し、防災意識を高めることを目的として活動しています。現在国土交通省都市局に対して、住宅における効率的な液状化調査方法及び液状化の詳細なハザードマップ作成について相談を行っており、引き続き南海トラフ地震による液状化被害の対策について努めて参ります。2023年9月8日、「対策いろいろ 防災ESD」に共催として参加！→5ページ

四国で紡ぐ仲間たち。



ローカルSDGs四国は、こんなプラットフォームです。

2021年2月、四国のSDGs関係者が集う場として「ローカルSDGs四国(通称:LS四国)」が設立されました。

2024年3月時点の会員数は205(下記)、分科会は7つ(左ページ)。

活動内容の一部は5~7ページで紹介したとおりですが、地域の課題は山ほどあり、複雑化しています。これからも会員同士が協働しながら解決に向けて進んでいきます。



イベントを機に
登録いただきました!

2023年度キックオフ!「LS四国フォーラム」開催。

2023.7.7開催 / 愛媛大学 メディアホール(愛媛県松山市)+オンライン

主催:LS四国 共催:愛媛大学SDGs推進室

LS四国フォーラム

SDGsプラットフォームの成長と協働に向けて

川久保俊氏(法政大学デザイン工学部教授)を迎え、「持続可能な社会を共創するためのSDGsプラットフォーム構築に向けて」をテーマにご講演いただきました。また、分科会活動報告、四国の地域課題についての情報提供、大学生も交えたパネルディスカッションも行いました。最新情報の提供や会員と関係者の交流、新たなつながりをつくるきっかけの場として、参加者から好評を得ました。



会員の主なメリット、6+1!

1.SDGs経営等の支援

- ・ LS四国等が主催する勉強会・交流会に参加できます。
- ・ さまざまな先進事例の紹介を受けられます。
- ・ 人材育成のサポートを受けられます。
- ・ アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。

2.情報収集・共有・発信

- ・ LS四国kintone等を通じて、自社の取組を四国内外に発信したり、他の会員の取組などの情報をいち早く収集できます。また、年2回発行の広報紙も活用できます。

3. マッチング支援

- ・ イベント参加や、コンサル会社等を通じて、自社の強み(シーズ)を地域課題解決(ニーズ)に活かすマッチングの支援を受けられます。
- ・ アドバイザーや協力機関などからの助言・協力を受けられます。

4. 仲間づくり・ネットワークづくり

- ・ イベント参加、LS四国kintone等を通じて、地域課題解決に向けた仲間づくりができます。
- ・ テーマごとの分科会の活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題解決に貢献することができます。

5. 資金調達及び金融連携の支援

- ・ 地域金融機関におけるESG金融の取組を促進・支援します。
- ・ 国・自治体等の助成制度等について紹介・相談を受けられます。

6. 優良な取組の表彰

- ・ 表彰制度により、優良な取組として発信することができます。(LS四国表彰)

+1. 会費無料

- ・ 入会金・年会費等は不要です。

会員数内訳 2024年3月14日時点・200団体+5個人

企業・その他関連団体 92
金融機関 19
自治体・政府関係機関・公益法人等 49
市民団体・NGO・NPO・その他 35
大学・研究機関・教育関連機関 5

いろいろな分野から
集まっています!



LS四国ホームページ
<https://ls459.net/>

ニュースレター
(年2回発行・A4判4ページ)



新規会員募集中

お申し込みはこちらからどうぞ。

https://ls459.net/?page_id=51



パートナーシップの基本。

情報収集、情報発信・PR、 ご相談への対応、そして対話の場づくり。

四国EPOは、地域のパートナーシップの構築を進めるために日々活動を続けています。
ここでは、基本業務の中からいくつかピックアップしてご紹介します。



情報発信・PR

ホームページ内「四国のおすすめ」は、英語・中国語での発信も！



ホームページ
Facebook
Instagram
X(旧Twitter)
本紙裏表紙にアドレス掲載。

メルマガ(月1回発行)

イベント出展(随時)
・ゼロカーボンシティ展
・環境活動展
など

広報紙「しこくえぼ」年4回発行
(A5判4ページ)

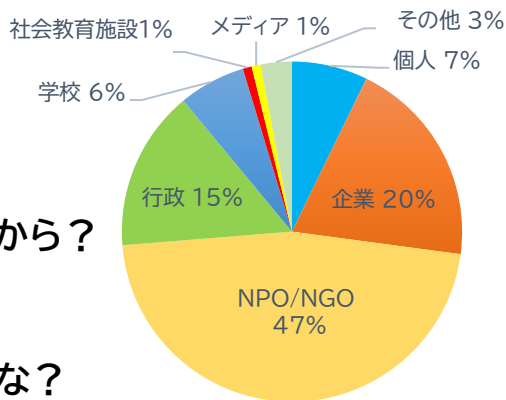
情報収集

地域課題の解決にはさまざまな分野の情報が必要です。環境のみならず、SDGs全般の関連情報を収集しています。

- ・新聞から
地元情報が豊富な四国四県の地方紙に2つの全国紙を加え、6紙をくまなくチェック。累計4万2,000件以上をデータベース化しています。
- ・イベントから
いろいろなイベントなどに参加し、出会いの中から新たに活動を知ることもあります。
- ・メールなどから
メールや郵便物での情報提供がほぼ毎日あります。

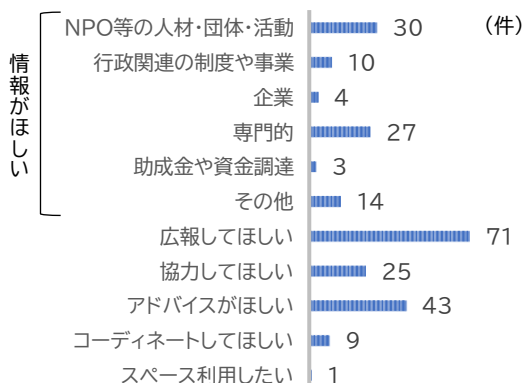
相談対応

四国EPOには、電話やメール、来訪によってさまざまな相談が持ち込まれます。2023年度は、どこから、どんな相談が寄せられたのか、データをご覧ください。



どこから?

どんな?



対話の場づくり

「対話の場」からパートナーシップを広げるために、四国EPOはたくさんの催しに関わっています。いろいろな人や団体がつながることで、力を合わせて、複雑化した地域の課題を解きほぐしていきましょう。

令和5年度気候変動講演会
2023年10月21日
かがわ国際会議場(香川県高松市)



環境白書を読む会in四国
2023年10月23日
四国大学(徳島県徳島市)
+オンライン

2024年度地球環境基金助成金説明会
2023年11月6日
高知市市民活動サポートセンター
(高知県高知市)+オンライン



第9回かがわ環境活動団体交流会
2023年12月17日
香川県庁本館(香川県高松市)

※上記2つのグラフは2023年4月~2024年1月のデータをもとに作成しています。

Activities

2022.4-2023.3

2023.4-2024.3

情報収集・発信・PR 相談対応・対話の場づくり

11/2 地球環境基金助成金説明会
12/18 気候変動講演会
2/4 かがわ環境活動団体交流会
2/22 C7勉強会

10/21 気候変動講演会
10/23 環境白書を読む会
11/6 地球環境基金助成金説明会
12/17 かがわ環境活動団体交流会 →9ページ

地域プラットフォームの 環境整備支援等

NTTコミュニケーションズ(株)四国支社(愛媛県鬼北町)
NPO法人大月地域資源活用協議会(高知県大月町)

NPO法人大月地域資源活用協議会(高知県大月町)
(一社)全国わくわく課協会(香川県東かがわ市)
→3ページ

事業化支援団体の 活動の情報共有

かみかつ茅葺き学校(徳島県上勝町)

かみかつ茅葺き学校(徳島県上勝町)

卒業団体の フォローアップ調査

(特非)とくしまコウノトリ基金(徳島県)
(特非)NPO84プロジェクト(高知県)

NTTコミュニケーションズ(株)四国支社(愛媛県鬼北町)

地域循環共生圏構築に 向けた身近な自然資本の 活用に関する意見交換会

1/31 物部川流域生態系保全から考える
持続可能な地域づくりへのアプローチ
2/13 四国の森林活用ダイアログ →4ページ

ローカルSDGs四国

7/22 LS四国地域脱炭素推進フォーラムin四国
11/18 森里川海ネットワーク形成会議
11/19 橋本林業現地視察
2/22 ローカルSDGs四国表彰式

7/7 LS四国フォーラム
9/8 対策いろいろ 防災ESD
11/16 四国地方における地域脱炭素創生ネットワーク会議
2/2 『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会
(分科会協力)
2/22 ローカルSDGs四国表彰式
3/19 四国連携環境を考える会(分科会協力)
→5~8ページ



◀ 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業中間共有会
由良野の森エクスカーション →3ページ



▶ G7香川・高松都市大臣会合関連事業
さぬきマルシェinサンポート
~SDGsマルシェ~
(2023年5月21日)



◀ 香川大学講義
(2023年
6月16・22日)

四国ESDバーチャル大学

ESD/SDGsツアー ×気候変動教育
10/21 第1回「ツアー企画を考えよう!!!」
11/25 第2回「ツアーの商品化を進めよう!!!」
暮らし×気候変動教育
2/25 「暮らしは断熱でどう変わる?」
ワークショップで実践!

フェアトレード×気候変動教育
6/22 「甘いバナナの苦い現実」
防災×気候変動教育
9/8 「災害状況バーチャル体験」
国際×気候変動教育
1/11 「気候変動教育プログラム」
ツアー×気候変動教育
1/28 「ESD/SDGsツアーってどんなもの?」
→11ページ

ESD推進ネットワーク 構築推進

2/12 四国ESDフォーラム
12/10 ESD推進ネットワーク全国フォーラム2022

2/12 四国ESDフォーラム →12ページ
12/9 ESD推進ネットワーク全国フォーラム2023

地域ESD拠点連携

えひめ森林公園ESDプログラム(えひめ森林公園)

新居浜ESDツアー(新居浜市教育委員会) →14ページ



◀ ESD推進ネットワー
ク全国フォーラム
ポスターセッション
(2023年12月9日)



▶ 四国ESDバーチャル大学
「ESD/SDGsツアーってどんなもの?」
→11ページ



◀ 新居浜ESDツアー →14ページ



四国ESDバーチャル大学

ESDとの出会いが、 地域の未来を変える力に。

「四国ESD バーチャル大学(学びあいプロジェクト)」は、
どこにいても気軽にESDに触れていただけるよう、オンライン等で学びの場を提供しています。
2022年度に引き続き「〇〇×気候変動教育」をテーマに4回開催。
さまざまな分野を気候変動教育(CCESD)とつなぎ、私たちにできることは何かを探してみました。

いつも食べているバナナ、
誰がどうやって作っているのか、
どうしてその値段で売られているのか、
考えたことがありますか？



フェアトレード×気候変動教育

1. 甘いバナナの苦い現実

2023年6月22日(木) 13:30~15:30 参加者42名
共催:新居浜市生涯学習センター(地域ESD拠点)

「甘いバナナの苦い現実」著者である石井正子先生(立教大学異文化コミュニケーション学部教授)を講師に迎え、バナナを取り巻く現状を知り、意見交換を通して何が問題か、苦い現実を変えていくために私たちにできることは何かを話し合いました。



発行:コモンズ

<参加者の声>

普段考えないことが
沢山あって目から
ウロコでした。

目の前のバナナだけでなく、その
裏側に隠れている人々の思いを
汲み取る必要がある。

私たちが変わっていかなければ両方の
幸せは得られない！！

特に印象的だったのは、形やバランスが不揃いなバナナについては商品価値が認められないために日本などへの輸出が制限されており、味は全く一緒なのに廃棄されてしまうことも少なくない、という事実です。現在、フードロスやSDGsなどの考え方が浸透してきているにもかかわらず、消費国の都合で生産国が被害を被ってしまうという現実には憤りさえ感じました。

防災×気候変動教育

2. 災害状況バーチャル体験

2023年9月8日(金) 10:00~12:00 参加者11名
いつ起きてもおかしくない「南海トラフ地震」。

香川大学にある「災害状況再現・対応能力訓練システム」を使い、バーチャル体験を通してそれぞれの実践力を問う機会となりました。

避難の様子
(防災ヘルメット装着)。



国際×気候変動教育

3. 気候変動教育プログラム

2024年1月11日(木) 13:00~14:30 参加者10名
共催:高知県地球温暖化防止活動推進センター

高知県立大方高等学校とキリバスの交流事例から、気候変動教育の在り方について考えました。交流のノウハウ、気候変動教育の教育的意義、ステークホルダー間の連携など、さまざまな角度から意見交換が行われました。



ツアー×気候変動教育

4. ESD/SDGsツアーって どんなもの？

どんぐり王国の
動画はこちら



2024年1月28日(日) 10:00~11:30 参加者12名
協力:NPO法人どんぐり王国

地域ESD拠点の一つ、NPO法人どんぐり王国の取組から、ESD/SDGsツアーのあるべき姿を探りました。

ESDのポイントを押さえつつ、
持続可能な地域づくりに必要な
学びとは何かを考える機会
となりました。





四国ESDフォーラム



当日の様子はこちらから！
動画を視聴できます。

四国のESDここにあり！ 年に1度のビッグイベント。

ESDはSDGsにとってとても重要な役割を果たします。
地球上にあるさまざまな問題を少しでも解決するため、一人ひとりが自分にできることを考え、やってみるための学び、それがESDです。

「四国ESDフォーラム2024」では、地域をよりよくするための取組が四国各地から大集合。当日の様子をご紹介します。



会場のあかがねミュージアム。「あかがね」とは「銅」のことで、外壁のカーブにあわせて銅板が張られています。

オープニングコンサート♪



愛媛ジュニアオーケストラの演奏で華やかにスタート。

ESD for SDGs リレートーク



四国で最初に地域ESD活動推進拠点となった新居浜市教育委員会で、歴代教育長とともにESDの普及・実践に取り組んできた先生方のリレートーク。現場での取組紹介を通じて、新居浜市で脈々と続くESD推進の成果を知る機会となりました。

●若い世代が育っており、新居浜市の教育の成果を感じた(アンケートより)

四国のユースESD/SDGs 事例発表



高校生からのコメントで
双方向の学びに。

ユースの発表では、四国各県から5校が参加。平和やジェンダー、地域の活性化など幅広いテーマが取り上げられ、地域にある学びの多様性や高校生の可能性を感じる時間となりました。

- 丁寧に調査、研究、活動が行われていた
- 自分事として考えることができた

(アンケートより)



四国ESDフォーラム2024

日時:2024年2月12日(月・休)13:00~16:00

場所:あかがねミュージアム(愛媛県新居浜市) + オンライン

共催:四国地方ESD活動支援センター(四国ESDセンター) 環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 新居浜市 新居浜市教育委員会

協力:四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)

後援:徳島県教育委員会 香川県教育委員会 愛媛県教育委員会 高知県教育委員会 ESD活動支援センター 特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)

発表校とタイトル

- 愛媛県立新居浜南高等学校 ユネスコ部
別子銅山の近代化産業遺産を生かしたまち学習・まちづくり学習
- 徳島県立穴吹高等学校 エシカルクラブ
Japan Tea ~茶染めで創るわたしたちの未来~
- 香川県立高松高等学校 香川県人道プログラム実行委員会
杉原千畝・幸子から広がる人道の輪
- 愛媛県立東予高等学校 写真・新聞部
アップサイクルペーパーの試作と地域観光プロジェクトの創案
- 高知県立室戸高等学校 はちきんツインズ
女子野球と女性参政権 ~女子野球選手と楠瀬喜多~



地域ESD拠点 in四国

学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に關する学びや活動に取り組んでいます。そうした現場のESDを支援・推進する組織・団体等を「地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)」として登録しています。四国には現在21の地域ESD拠点があり、それぞれの得意分野を生かしながら持続可能な四国を目指しています。

「環境教育・ESD実践動画100選」に選定!

パンゲアフィールド、公益財団法人大阪YMCA・YMCA阿南国際海洋センター、株式会社タイチの3拠点が、環境省の「環境教育・ESD実践動画100選」に選ばれました!



ここからアクセス!

株式会社ハレルヤ



SDGsの取り組み説明に真剣に耳を傾ける小学生

一般社団法人そらの郷



傾斜地農法体験

パンゲアフィールド




ごみゼロカードゲーム体験

株式会社井上組



働きがいも経済成長も

**公益財団法人大阪YMCA
YMCA阿南国際海洋センター**




大海原は、自分たちの力で漕ぎ進めます

高松ユネスコ協会



讃岐ジオパークシンポジウム

うどんまるごと循環プロジェクト




エコツアーでの一コマ(小麦種まき)

善通寺こどもエコクラブ



「筆の山」観察会

新居浜市教育委員会



小・中学校ESD主任研修会でのワークショップ

IKEUCHI ORGANIC株式会社



職場体験学習(えひめジョブチャレンジU-15)

株式会社平野 平野薬局



bz4X(電気自動車)の導入

NPO法人えひめグローバルネットワーク



モザンビークを訪問した愛媛の中学生3人が、川から水汲み・水運びを体験!

一般社団法人ノヤマカンパニー



森のようちえんの一コマ(森の中でクッキング)

NPO法人どんぶり王国



マイクロ水力発電体験会

えひめ森林公園




えひめ森林公園ESDプログラム

株式会社タイチ



済美高校生45名と一緒に海ゴミ問題を学ぶ!

新居浜市生涯学習センター



SDGsから考える地球環境問題(新居浜高専生と語り合う)

株式会社土佐山田ショッピングセンター



日章小学校カツオ薫焼きタタキ体験

室戸ジオパーク推進協議会



外来種サボテンの駆除と活用

株式会社相愛



竹林の管理と竹の生態

豊永郷民俗資料館



大豊学園の子ども達に昔の道具を説明



ESD活動支援の基本。

情報収集 & 発信

四国のESD/SDGsに関する情報を収集し、ホームページやメルマガ、Facebookで発信。今年度からはX(旧Twitter)やInstagramも始めました。イベントだけでなく、助成金情報やアワードなど幅広く紹介しています。

また、毎月第一水曜日は西日本放送ラジオ(RNC)でSDGsにつながる活動を紹介。多様なゲストからお話を伺い、地域の取組がどうSDGsにつながっているのか、私たちにできることは何かを紹介することができました。



生放送でお届け！

かがわ国際フェスタ2023/ 国際ふれあい広場(高知) 出展

ESD/SDGsに関する情報収集・発信を行いました。SDGs達成には世界中の国の協力が欠かせません。ここではさまざまな国や文化の交流を通じて、新しいつながりが生まれました。



かがわ国際フェスタ2023



国際ふれあい広場(高知)

相談対応

四国ESDセンターはESDやSDGsに関することを気軽に相談できる場所です。今年度もメールや電話、面談など、さまざまな方法でみなさんからの相談をお受けしました。

<相談事例>

教員向けSDGs講座を検討中。講師を紹介してほしい。

ESDの定着・推進について意見・アドバイスをほしい。

地域ESD拠点について詳細を知りたい。

SDGsに取り組む団体や学生の情報がほしい。

子ども支援のためのSDGs活動事例を知りたい。

ESDの取組に関する助成金情報がほしい。

香川型教育メソッド研究会

香川県教育委員会が運営するこの研究会に四国ESDセンターも参画しました。

高校生の探究的な学びに関する教育実践に取り組み、各校の活動の情報共有や支援等を通して、この「香川型教育メソッド」を生かした学びの普及とその成果の検証を行いました。

新居浜ESDツアー

持続可能な地域づくりの観点から、新居浜市内の要所を訪れ、参加者同士の学びあいの機会を提供することを目的として開催。

ガイドは愛媛県立新居浜南高等学校の生徒の皆さん！1年生とは思えないしっかりしたガイドぶりで、充実した内容のツアーとなりました。



青いジャンパーに案内用の旗を持ち、ガイドの装備も本格的。同校ユネスコ部作成のガイドブックを片手に丁寧な説明があり、新居浜の魅力を深く知ることができました。



国登録有形文化財の旧端出場水力発電所。

 **四国EPO** 四国環境
パートナーシップ (四国EPO)
オフィス
Shikoku Environmental Partnership Office
TEL. 087-816-2232 FAX 087-823-5675
4epo@4epo.jp https://4epo.jp/

 **四国地方ESD活動支援センター**
Education for Sustainable Development (四国ESDセンター)
TEL. 087-823-7181 FAX 087-823-5675
info@shikoku-esdcenter.jp https://shikoku.esdcenter.jp/

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目1-1 高松第一生命ビル新館3階 open:月~金曜 9:00~18:00 close:土・日曜 祝日 年末年始

■徳島デスク TEL. 080-4035-4593


〒770-8008 徳島市西新浜町2丁目3-102 エコみらいとくしま内
open:火~金曜 9:30~18:00 close:土・日・月曜 祝日 年末年始


■愛媛デスク TEL. 080-4999-4591


〒790-0803 松山市東雲町5-6 (特非)えひめグローバルネットワーク内
open:月~金曜 9:00~18:00 close:土・日曜 祝日 年末年始


■高知デスク TEL. 080-4998-4592

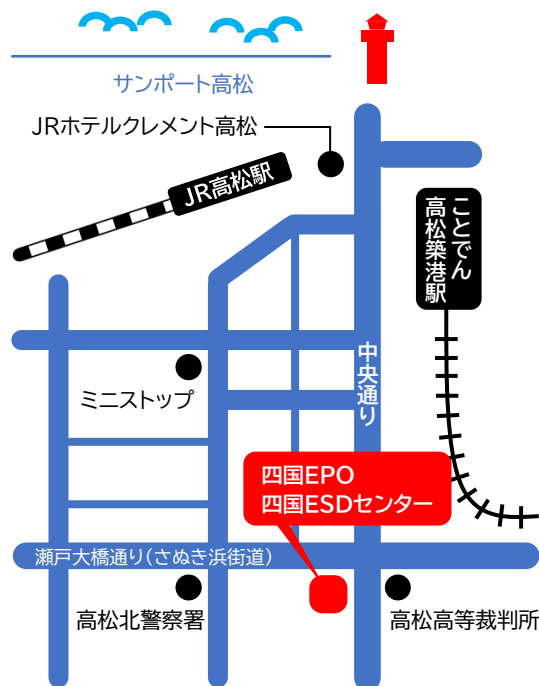
〒780-0935 高知市旭町3丁目115 こうち男女共同参画センター3階 (特非)環境の杜こうち内
open:月曜 9:00~17:00 / 火~金曜 9:00~18:00
close:第2水曜 土・日曜 祝日 年末年始

 **ローカルSDGs四国(LS四国)**
TEL. 087-816-2232
FAX 087-823-5675
info@ls459.net
https://ls459.net/

Facebook ▶ shikokuEPO 

Instagram ▶ shikoku_epo 

X(旧Twitter) ▶ shikoku_epo 



- 共用スペースのご利用、資料・書籍・電子情報等の貸し出しについてはお問い合わせください。
- スタッフ不在の場合もございます。ご訪問の際にはあらかじめスタッフの在室をご確認ください。
- JR高松駅、ことடன்高松築港駅から徒歩約5分。
- バス停「寿町」下車すぐ。
- ※ 駐車場・駐輪場はございません。
- 公共交通機関等をご利用ください。
- ※ 2024年10月に移転を予定しています。
- 詳細はホームページにて発表します。

受託団体: 特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
※2024年4月より「四国グローバルネットワーク」に改称。
四国EPOと四国地方ESD活動支援センターは、
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワークが
環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と協働で運営しています。



リサイクル適性 A
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。